

脆弱性骨折予防のために かかりつけ医が出来ること

- ◆ 骨粗鬆症認定医単位 5単位申請予定
- ◆ 骨粗鬆症マネージャー単位 3単位申請予定

本セミナーの概要

骨粗鬆症の脆弱性骨折を起こした患者は次の骨折を起こすリスクが高く、椎体骨折や大腿骨近位部骨折は生命予後を短縮すると考えられています。

骨折患者に対する骨粗鬆症治療は効果的であると考えられますが、その治療率は十分ではなく、また治療が中断されてしまう患者の存在も指摘されています。

骨折連鎖を断ち切るために整形外科のみならずプライマリー・ケアを担っているかかりつけ医、看護師、理学療法士、薬剤師など地域、多職種連携が期待されています。

本セミナーでは、かかりつけ医による骨粗鬆症治療および連携の重要性についてご講演を頂きます。

日時 2018年12月6日（木） 19時～20時

会場 大手門パルズ 3階 「柵」

山形県山形市木の実町12-37 TEL : 023-624-8600

座長 山口 修 先生 篠田総合病院 整形外科

講師 風間 順一郎 先生 福島県立医科大学医学部 腎臓高血圧内科学講座 主任教授

- ※ 情報交換会は予定しておりません。
- ※ 会場にてお弁当を用意しております。（数に限りがございます。ご了承ください。）
- ※ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度認定研修会 申請中
- ※ 山形県病院薬剤師会 生涯教育認定制度 0.5 単位

共 催
山形県病院薬剤師会 帝人ファーマ株式会社